

サロン活動の再開を検討されるみなさまへ

【活動の再開に向けて】

1 グループ内での意思確認をする

サロン活動の再開と再開後の運営は、メンバー全員の協力があって成り立ちます。
まずは、再開するかどうかをグループ内で検討しましょう。

2 開催場所となる会場の使用制限がないかを確認する

会場によっては制限がある場合もありますので確認しましょう。
自治会館や公民館の方とも活動再開に向けた話し合いをしましょう。

3 サロン活動の内容と開催方法を検討する

歌を歌うことや、複数でのレクリエーション用具の利用をする場合は、対策を取りましょう。
屋外での活動や、分散での開催なども一つの案として検討してみましょう。

4 サロン活動再開の案内と参加者の状況確認

活動再開の広報について考えましょう。
サロンに参加される方の思いを可能な範囲で聞き取りましょう。
活動再開後に参加されなかった方に対しては、電話やお手紙などでの見守りをするなど、これまでのつながりが途切れてしまわないような工夫を検討しましょう。社協も一緒に考えます。

5 開催中の感染拡大予防対策を検討する

活動を再開する場合は、感染拡大の予防対策を取りましょう。
感染防止に必要な物品を準備しましょう。

(例)マスク、消毒液、ゴミ袋、ビニール手袋 など

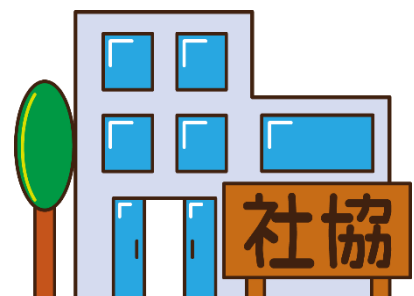
※市社協で、手指消毒液をボトルに入れた状態で提供予定です。マスクについても、ボランティアさんが手作りしてくださった布マスクが数に限りはありますが確保しています。ご希望される場合は別紙の「サロン活動予定書」に記載してください。

サロン活動予定書の記載に基づき、市社協より連絡の上お届けさせていただきます。

6 明石市社会福祉協議会へ連絡をする

グループ内での検討が終わり今後の活動方針が決定したら、別紙の「サロン活動予定書」を明石市社会福祉協議会まで送付してください。お電話、FAX、持参いずれの方法でも構いません。活動再開の目安として、6月18日までを再開の検討及び準備期間とし、6月19日以降の再開をおすすめします。

サロン活動の再開に向けて、
まずはグループのみなさんで話し合いましょう



【活動を再開する場合の注意すべきポイント】

1 一人ひとりの基本的な感染対策

- 人との間隔は、できるだけ2m空ける。(最低でも1m空ける。)
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用する。
※熱中症予防として、屋外や短時間(15分以内)、人との距離がある場合を除く。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒液の使用も可能)。

2 すべての活動について

- 会場に到着したら全員手を洗う。
- 毎朝自宅で、体温測定、健康チェックをする。
※発熱(37.5度以上)または風邪(咳・咽頭痛・鼻水・倦怠感)の症状がある場合は無理せず自宅で療養する。
- 発熱または風邪の症状がある人、同居家族に体調不良の方がいる人は参加を控えるよう呼びかける。
- 対人距離が確保できない場合は、1回あたりの参加人数を調整し複数回に分けて開催する。
- 開始前に自宅での体温測定の結果を確認する。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、参加者等の名簿(参加者氏名、連絡先、体温確認の様子などがわかるもの)管理を考える。
- 複数の人の手が触れる場所(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ等)を消毒液や塩素系漂白剤(※1)を用いて適宜消毒する。
※1 水2ℓに対して漂白剤(濃度5%タイプ)20ml(キャップ1杯程度)を入れる。
- 複数人が共用する物品(文房具、レクリエーション用具等)は適切に消毒できない場合は使用を中止するか、特定の個人のみが使用できるようにし、分けて保管する。
- 十分な換気を行う。

3 体操(運動)について

- 運動中息が上がると飛沫が遠くまで飛びやすいため、人との間隔は十分空ける(2m以上:参加者が両手を広げてぶつからない程度)。
- マスクを着用したまま運動を行う場合、こまめに水分を摂り熱中症に十分注意する。
マスクを着用しての強い負荷のかかる運動や作業は避ける。

4 茶話会・会食・その他のプログラムについて

- 大声で歌う場合は飛沫が遠くまで飛びやすいため、マスクを着用する。
- 対面ではなく横並びや対角線上に座る。
- 大皿は避けて、個々に分ける。菓子などは市販の個包装のものを選択する。
- 皿やコップは使い捨てを使用する。食器を使用する場合は、熱水(80℃の熱水に10分間さらす)や塩素系漂白剤で消毒する。
- 鼻水、唾液等が付着したごみは、ビニール袋等に入れて密閉して捨てる。
- ごみを回収する人は、マスクと手袋を着用する。回収した後は必ず手を洗う。